



きららかは日本海に
突き出た岩場に立地

みちのく
ココロと
カラダの
癒し旅

達人の旅指南
第108回

フリーライター 加藤隆悦

男鹿リゾート

男鹿市
戸賀

ホテルきららか

全国的に人気の観光地

男性的な海岸美をはじめとする
景観や豊かな魚介類が魅力の秋田
を代表する観光地・男鹿半島。この
夏も多くの県外ナンバーの車が訪
れた。

男鹿市北浦の男鹿真山伝承館は
大晦日のなまはげ行事を通年で体
験できる施設として根強い人気を
誇る。

南磯の中心地船川地区には昨
年、男鹿の海の幸・山の幸を提供
する「道の駅おがなまはげの里オ
ガレ」が誕生。団体旅行がかげり
を見せる中、家族旅行などを楽し
む人たちの中継拠点となっている。

男鹿半島の滞在型観光の一翼
を担っているのが西海岸に位置する

「男鹿リゾート ホテルきららか」。
野趣に富んだ風光明媚な立地にあ
り、すべての客室から日本海が見下
ろせる豪快な眺めが魅力。水平線
に沈む夕日を眺めながらの入浴や
新鮮さを味わえる食事は非日常の
格別な時間となる。

海辺のリゾートホテル

きららかは、昭和54(1979)
年に「男鹿桜島荘」として開業。そ
の後、平成16(2004)年から現
在の館名で再スタートし、昨年9月
でいったん休館。外装や空調など老
朽化した施設設備を一新して今年
7月21日に改めてグランドオープン
した。

秋田県民歌に「狂瀾吼え立つ」と
うたわれた断崖絶壁が続く男鹿半



朝夕の食事は日本海を一望するレストランで



1 先付けはカスベ煮凝り、海老味噌豆腐など 2 お造りはアワビ、マグロ、ウニ、エビ 3 和牛陶板焼き 4 枝豆饅頭、芽ジュンサイ 5 ノドグロ、メバル、なめろう磯辺の揚物 6 ホタテ炊き込みご飯と黒バラ海苔の吸い物（※写真は一例。料理内容は季節によって変わります）

船上からの景観も注目

きららかに通じる県道59号、通称「おが潮風街道」の門前―戸賀間（だんさんま）は、昭和45（1970）年に大栈橋有料道路として開通、平成3（91）年に無料開放された。断崖の中腹を縫うように走る豪快なドライブコース

で、海辺の道でありながら山岳道路のような趣もある。公共交通機関を利用しての旅行なら、男鹿駅との送迎についてはホテルに問い合わせるというだろう。

今年6月から運航を開始した男鹿半島観光遊覧船「シーバード」の利便も一興だ。遊覧船は男鹿駅近くの船川港を発着点とし、男鹿水族館前



露天風呂は潮風を浴びて



展望大浴場。温泉は、かつてこの地の波打ち際に実在した金ヶ崎温泉の源泉を引いている

島西海岸の岩礁に立つ。そのロケーションは多くの宿泊者を魅了し、何度も訪ね来るリピーターも少なくないという。

客室は、和室、洋室、ひとクラス上の和洋室、特別室など、全23室。そのうち1室はバリアフリー仕様の客室になっていて、車いす利用の人にも安心・快適に過ごしていただける。

ハタハタ漁で有名な北浦漁港に揚がる地魚などを味わえるレストランでの食事、湯量豊富な黄褐色のナトリウム―塩化物泉の大浴場での入浴は、目の前いっぱい広がる青い海、青い空を眺めながらの贅沢なひとときとなる。

男鹿リゾート ホテルきららか

HOTEL KIRARAKA

〒010-0671 男鹿市戸賀加茂青砂中台1-466

TEL.0185-47-7220 FAX.0185-47-2221

<http://hotel-kiraraka.com/>

※各種宿泊プランがあります。詳細はホームページをご覧ください。電話でお問い合わせください。



西海岸を海上から巡る観光遊覧船「シーバード」



海上からしか見られない白糸の滝



客室は全室オーシャンビュー

和洋室はゆったりとした造り



洋室タイプの客室、バリアフリー仕様もある